

第4章 取組み体制およびスケジュール

4-1 取組み体制

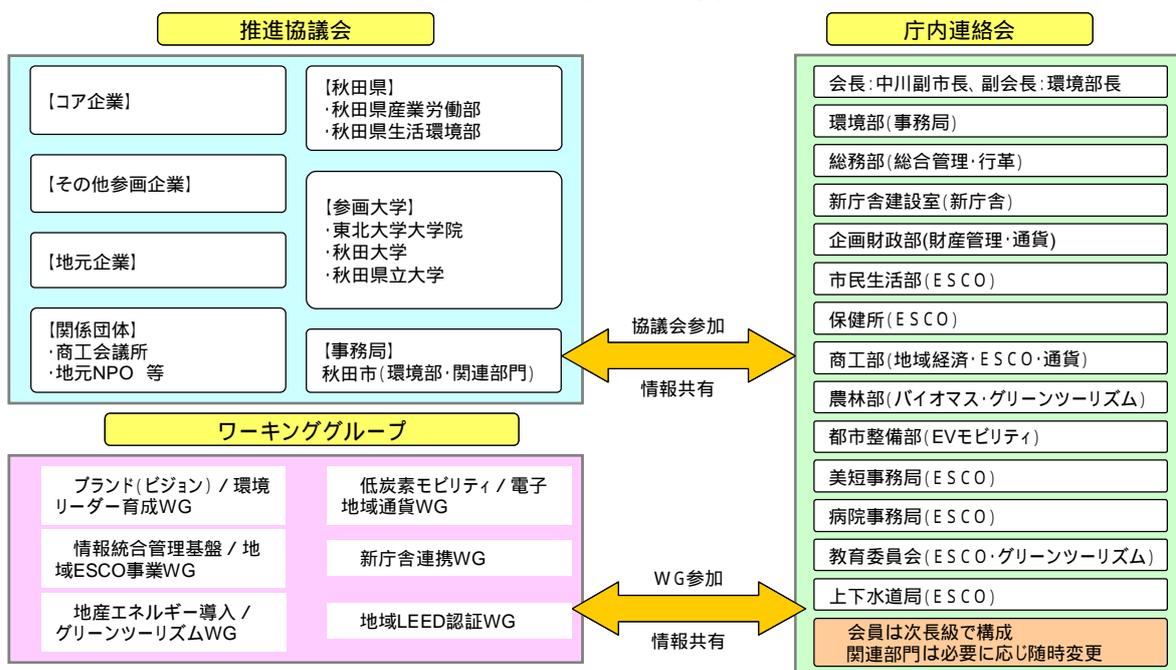
4-1-1 推進協議会の設置

「あきたスマートシティ・プロジェクト基本計画」の効果的な推進に向けて、事業内容および各種補助申請の検討、関係機関の役割分担等の調整を行う組織として、産学官からなる「あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会」を設置する。

また、市内の連絡体制を緊密なものとするため、プロジェクト関係部局で構成する市内連絡会を立ち上げる。

なお、協議会において、事業が具体化した際は、協議会メンバーと市内関係部門からなるワーキンググループを設置し、詳細な検討を行う。

図表 4-1 取組み体制



4-1-2 民間企業の参画

本プロジェクトにおいては、先進的な低炭素関連技術やサービスを導入していくことを目的として、積極的な民間企業の参画を得て推進するものとする。

推進協議会においては、本プロジェクトを先導するコア企業が、推進協議会の牽引及び本市との調整、地元や大学との連携・調整等の中心的役割を担う。

また、個別プロジェクトにおいては、それぞれ個別技術やシステムの導入にあたり、専門的ノウハウを有する民間企業の参画を募る。実証事業や詳細な事業計画の立案、実際の事業実施に向けた検討において、綿密な協議を行い、実現に向けた官民連携を推進するものとする。

4 - 1 - 3 ワーキンググループの構成

本プロジェクトの推進に当たっては、個別プロジェクトについて、参画する民間企業と本市、地元、大学が詳細な検討を行い、事業推進を図る「ワーキンググループ」を組成する。ワーキンググループは、現在想定している9つのプロジェクトについて、連携が必要なプロジェクトは同じワーキンググループで検討するものとして、概ね以下の6つのワーキンググループの組成を予定している。

図表 4-2 ワーキンググループ案

| ワーキンググループ | 検討内容案 |
|--------------------------|---|
| ブランド（ビジョン）/ 環境リーダー育成 WG | <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクト全体のコンセプトやビジョンの検討 ・アジア・アフリカ地域の環境リーダーとの連携 PJ の事業計画検討 |
| 情報統合管理基盤 / 地域 ESCO 事業 WG | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ情報統合管理基盤の構築と、基盤を活用した地域 ESCO 事業の事業化検討 |
| 地産エネルギー導入 / グリーンツーリズム WG | <ul style="list-style-type: none"> ・秋田の特性を生かした地産エネルギー導入促進 PJ の事業計画検討 ・秋田の森林や農業資源を活用したグリーンツーリズム推進 PJ の事業計画検討 |
| 低炭素モビリティ / 電子地域通貨 WG | <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素モビリティの事業計画、実証事業の検討 ・電子地域通貨 PJ の事業計画及び実証事業の検討・実施 |
| 新庁舎連携 WG | <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設との連携に向けた検討及び関係機関との協議 |
| 地域 LEED 認証 WG | <ul style="list-style-type: none"> ・山王エリアの地域 LEED 認証に向けた事業計画の検討 |

4 - 2 全体スケジュール（案）

各プロジェクトのスケジュール案は以下のとおり。個別プロジェクトは WG での検討を進め、適宜プロジェクト間の連携・調整を推進協議会において図るものとする。また、本スケジュールは、詳細検討を進めるに当たり、検討状況や事業進捗に伴い、適宜見直しを行うものとする。

図表 4-3 全体スケジュール案

